

製品名: カベオリン-3 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe86210

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,IP |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 0.15mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。 |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:1000-1:5000,IHC 1:500-1:2000,IP 1:10-1:100 |
| 分子量 | Calculated MW:17 kDa; Observed MW:17 kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | Caveolin-3 |
| 別名 | LQT9; MPDT; RMD2; VIP21; LGMD1C; VIP-21 |
| 遺伝子 ID | 859 |
| SwissProt ID | P56539 |
| 免疫原 | ヒトカベオリン3の合成ペプチド |

背景

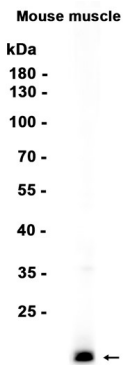
この遺伝子は、ほとんどの細胞種に見られるカベオリン細胞膜の構成要素として機能するカベオリンファミリーのメンバーをコードし

ています。カベオリンタンパク質は、特定のカベオリン相互作用分子を組織化および濃縮するための足場タンパク質であると提案されています。この遺伝子に同定された変異は、タンパク質のオリゴマー形成または細胞内経路の阻害につながり、カベオラ形成を阻害し、肢帯型筋ジストロフィー 1C 型 (LGMD-1C)、高 CK 血症、または波状筋疾患 (RMD) を引き起こします。この遺伝子座では、異なるスプライシングを受けたイントロンの包含または排除を伴う選択的スプライシングが同定されています。さらに、転写産物は複数のポリ A 部位を利用し、2つの潜在的な翻訳開始部位を含みます。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



1:1000 の Caveolin-3 ウサギモノクローナル抗体を使用したマウス筋肉組織抽出物のウェスタンブロット分析。